

2017（平成29）年度事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

立川通勤寮

東京都手をつなぐ育成会統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」私たちは、親と共に、子のそれぞれの自立に向かう運動体としての活動を進めてまいります。

立川通勤寮サブミッション

「それぞれが望む生活の場への移行を実現するために、利用期間内に、安定した企業就労ができるように、就労・生活面での支援を一体的に行います。」

1. 全体状況

平成28年度の4月より2年が経過した。本年度の利用率は平均96%を超え前年度より多く収入を得ることができた。新人職員が3名入職したため、労働環境として「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」「長時間労働の是正や安全で健康に働くことができる職場づくり」「柔軟な働き方がしやすい環境整備」など働き方改革に重点を置くことに注視した。退職者はなく、この環境を来年度も継続しながら質の向上をを目指す。また、利用者及び保護者からの見学、面接、親の相談等が増えており、希望に沿えない場合が生じているが一人でも多く学ぶ場を提供し続け、「生活する楽しさ」「就労している誇り」を職員と共に考え行動できる事業所を目指す。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 重点目標

(通勤寮共通)

- ① 「都型通勤寮」の機能、専門性、支援内容、実績などの情報を広め、社会的養護者から単身生活希望者まで幅広く利用者を受け入れる。

・情報発信では、特別支援学校保護者会における通勤寮事業説明（4寮合同）や見学者の受け入れを実施、特に夏休み期間には特別支援学校進路授業の一環

としての見学会を実施し各寮で延べ100名近い見学者を受け入れた。

・見学等を通して情報提供を行ったことにより「将来に向けた自立」や「親離れ子離れ」といった目的の利用者も増え、社会的養護者を含め幅広い層の利用者受入れを実現することができた。

② 宿泊型自立訓練の機能を補完すべく創設された「通勤寮連携型グループホーム」の制度に基づき、通過型グループホームの開設を計画的に進める。

・大田通勤寮の民間移譲から3年、他3寮は2年が経過する中で開設に至っていない状況であるが、立川通勤寮においてはへお瀬尾30年9月に開設予定で準備を進めることができた。

・施設の建て替えに関して大田通勤寮は29年11月以降に、江東通勤寮と豊島通勤寮は建て替え後にそれぞれ連携型グループホームを開設することで東京都福祉保健局との調整が取れている。

(立川通勤寮)

③ 24時間365日の支給量を提供している職員の労働環境改善のための「TOKYO働き方改革宣言」を視野に、時間外を月10時間以内とし、有給休暇の取得率を60%とする。また、宣言が実現可能となるよう、職員の増員に必要な財源を確保する。

「働きやすい職場環境」を構築するための職員増員配置を計画する。

・4月に時間外10時間を超過した職員が2名発生したが、決算及び予算書類未経験事務員と怪我による休職職員のサポートのためと理由がはっきりしていた。また、7月と11月に一人ずつ宿泊行事および年度の書類整理のため、10時間をわずかに超えた月が1回ずつあった。

有給休暇消化率に関しては、学生アルバイト及び契約職員を増員した結果、有給休暇の消化率は全体で、48.8%であった。目標率60パーセントに届かず、来年度の継続とした。また、利用率が96%を超えたため、財源も確保できた。

④ 防災担当や衛生推進者等の業務分担の行うべき詳細な業務内容のマニュアルを作成し、間接業務遂行の引き継ぎおよび業務徹底を進める。

・施設運営役割分担表の遂行項目に業務の詳細な動きが読み取れる内容や実施期日も載せた間接業務を作成した結果、新人職員の業務管理スケジュール向上がみられた。本年は連携型グループホーム事業が増えるため、更なる詳細や分

担表作成が求められる。

⑤ 清潔で整理整頓された、生活空間を保つ。

・出勤時に15分程度の館内共用部分の確認や月1回の利用者と職員とのハウスキーピングの徹底と大掃除を年末と夏に2回設けた結果、8割程度清潔で整理整頓された空間を保つことができた。今後も常に見学者等を意識した整頓された空間を保つ。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、居室その他の設備を提供し、独立自活に必要な助言及び指導を行い、利用者の社会適応能力を向上させ、円滑な社会参加を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地

名称	社会福祉法人東京都手つなぐ育成会 立川通勤寮
事業所番号	1312500984
所在地	東京都立川市柴崎町4-11-15
電話	042-528-3572
ファックス	042-528-3526
電子メール	tachikawa@ikuseikai-tky.or.jp
HPアドレス	http://www.ikuseikai-tky.or.jp

(3) 設立

設立年月	平成5年4月1日
建物等貸付期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
施設種別	指定障害福祉サービス（宿泊型自立訓練）

(4) 施設の規模

- ① 建物専有面積 907.27㎡（女性相談センター412.26㎡）
（女性相談センターを含めた、合築建築面積1319.53㎡）
- ② 建物構造 鉄筋コンクリート造 3階建 冷暖房完備
- ③ 設備内容

区分	居室数	設備内容
1階	3室	玄関、食堂、調理室、調理員控室、トイレ（来客用）
2階	14室	事務室、宿直室、警備員室、利用者居室（2人用4室、1人用2室）、静養室、娯楽室、トイレ（女性用）、相談室、浴室

3階	13室	利用者居室（2人用8室、1人用4室）、トイレ（男性）浴室
----	-----	------------------------------

(5) 職員構成

① 職員構成

常勤職員	施設長(サービス管理責任者)	1名
	サービス管理責任者	兼務
	生活支援員	4名
	地域移行支援員	2名
	事務員	1名
非常勤職員	生活支援員	5名
	地域移行支援員	4名
	嘱託医	2名
	臨床心理士	1名
	嘱託栄養士	1名
合計		21名

② 職員人事（転入・転出・採用・退職）

事由	日付	氏名	備考
異動（転入）	29.4.1	福士 朋恵	（転入先）支援ハウス
採用	29.4.1	藤本 結衣	
採用	29.6.1	馬場瀬菜美	
採用	30.1.1	中川 紗希	
採用（契約）	29.10.1	海發 歩	
異動（転出）	30.1.1	海發 歩	（転出先）すだちの里

(6) 利用者の状況（平成30年3月31日現在）

① 利用対象者

ア. 主たる対象者は15歳以上の知的障害者で、愛の手帳及び障害福祉サービス受給者証が発行されており、現在就労中または就労が決まっている知的障害者。

イ. 定員30名（男性20名、女性10名）

ウ. 在籍30名（男性20名、女性10名）年度末の実績

② 性別・年齢別構成

（平成30年3月31日現在）

年齢	～19	～29	～39	40～	平均
----	-----	-----	-----	-----	----

男 性	5名	14名	3名	0名	22.1歳
女 性	3名	3名	2名	0名	24歳
合 計	8名	17名	5名	0名	22.6歳

③ 障害の程度・年金 (平成30年3月31日現在)

	愛の手帳 3度	愛の手帳 4度	その他	身障 手帳 級	精神 手帳 級	年金2 級	年金 無し
男 性	0名	19名	2名	0名	1名	5名	17名
女 性	0名	8名	0名	0名	0名	3名	5名
合 計	0名	27名	2名	0名	1名	8名	22名

*埼玉県の療育手帳C 1名、神奈川県療育手帳B 1 1名

④ 障害者支援区分 (平成30年3月31日現在)

	区分2	区分3	区分4	無し	合計
男 性	4名	0名	1名	17名	22名
女 性	2名	0名	0名	6名	8名
合 計	6名	0名	1名	23名	30名

⑤ 入寮前状況 (平成30年3月31日現在)

自宅(家庭)	26名	単身	1名
児童養護施設	3名	里親	0名
グループホーム	0名	福祉施設	0名
その他	0名	合計 30名	

*特別支援学校出身者名 28名

⑥ 保護者状況 (平成30年3月31日現在)

	両親	母	身寄りなし	その他	合計
男 性	8名	8名	0名	6名	22名
女 性	5名	3名	0名	0名	8名
合 計	13名	11名	0名	6名	30名

⑦ 実施機関別入所者状況 (平成30年3月31日現在)

	男 性	女 性	合計
小平市	1名	2名	3名
八王子市	1名	1名	2名

府中市	5名	1名	6名
立川市	2名	0名	2名
調布市	2名	0名	2名
国分寺市	3名	0名	3名
和光市・足立区・日野市・中野区・杉並区 三鷹市・青梅市・川崎市			各男性1名 計8名
世田谷区・国立市・武蔵村山市・昭島市			各女性1名 計4名
合 計			30名

⑧ 就労先（平成30年3月31日現在）

	男 性	女 性	合 計
日野市	3名	1名	4名
三鷹市	1名	1名	2名
府中市	5名	0名	5名
八王子市	3名	0名	3名
渋谷区	1名	3名	4名
立川市・小平市・羽村市・東大和市 多摩市・川崎市			各男性1名 計6名
昭島市・稲城市			各女性1名 計2名
合 計			27名

*失業者男性1名、高校生男性1名
高校生女性1名

⑨ 勤務先業種（平成30年3月31日現在）

調理補助	4名	清掃	8名	販売	3名
流通・運送	3名	事務補助	6名	介護・保育	2名
クリーニング	1名	無職	1名		

*高校生：2名

⑩ 給与の状況（平成30年3月31日現在）

最高額	227,743円	※流通
最低額	84,848円	※販売
平均額	126,469円	

⑪ 社会保険・雇用保険加入状況（平成30年3月31日現在）

	社会保険		雇用保険	
	有	無	有	無
男 性	21名	2名	18名	2名
女 性	8名	1名	8名	2名

合 計	27名	3名	26名	4名
-----	-----	----	-----	----

- *国民健康保険加入者 1名
- *組合健康保険被保険者 2名
- *なし 1名

⑫ ぜんち共済加入状況（平成30年3月31日現在）

加入者 18名

⑬ 利用状況

平成29年度までの利用者総数299名（平成30年3月31日現在）

4. 事業実績

(1) 利用者状況（月初）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一般就労者	27	28	28	28	29	28	29	30	29	31	29	28
福祉就労	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
失業者	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	30	30	30	30	31	30	30	31	30	31	30	30

(2) 平成29年度卒寮者及び退所先

No	退寮年月日	性別	年齢	実施機関	入寮前	退寮先	現住所	利用期間
1	H29.05.12	女	22	八王子	施設	GH	東大和	27か月
2	H29.05.28	男	45	八王子	自宅	GH	東大和	37か月
3	H29.08.31	男	20	昭島	自宅	GH	武蔵村山	23か月
4	H29.09.29	女	32	八王子	自宅	自宅	八王子	25か月
5	H29.11.03	女	20	小平	施設	GH	青梅	28か月
6	H29.11.29	女	23	狛江	自宅	GH	福生	37か月
7	H30.01.31	男	26	入間	自宅	GH	昭島	23か月
8	H30.02.12	男	20	小平	自宅	GH	板橋	32か月
9	H30.02.28	女	21	杉並	自宅	自宅	杉並	19か月
10	H30.03.24	女	20	三鷹	自宅	自宅	三鷹	17か月

平均：2年3か月の利用期間

(3) 平成29年度入所者

No	入寮年月日	性別	年齢	実施機関	勤務先	職種	度	入寮前
1	H29.05.14	女	18	武蔵村山	三鷹	保育	4	自宅

2	H29.06.01	男	27	三鷹	多摩	清掃	4	自宅
3	H29.07.11	女	20	昭島	昭島	事務補助	4	自宅
4	H29.09.29	男	18	府中	川崎	事務補助	4	自宅
5	H29.10.05	男	20	立川	三鷹	販売	4	自宅
6	H29.11.05	女	19	八王子	稲城	介護	4	自宅
7	H29.12.19	男	34	青梅	日野	清掃	4	自宅
8	H30.02.23	男	19	川崎	府中	清掃	4	自宅
9	H30.02.27	男	18	国分寺	府中	学生	4	自宅
10	H30.03.21	女	18	府中	府中	学生	4	自宅

(4) 入寮希望見学者

① 特別支援学校等	193名
② 個人	107名
合計	300名

(5) 主な年間行事

月	行事名	利用者	OB ・家族	職員 ・ボラ
4	クッキング	11名	0名	4名
5	フットサル大会(府中市)	3名	5名	5名
	障害者スポーツ大会(陸上・バスケ等)	7名	11名	2名
6	バスハイク	28名	0名	8名
	柴崎町地区防災合同訓練	6名	0名	1名
7	大掃除、食事会	27名	0名	10名
8	柴西町会夏祭り	5名	5名	3名
9	クッキング	7名	0名	3名
	フットサル大会(府中市)	5名	5名	9名
10	クッキング	9名	0名	5名
11	福祉マラソン	0名	3名	2名
	スピーチフォーラム(東京)	6名	9名	3名 0名
12	クッキング	7名	0名	2名
	クリスマス会	27名	0名	13名
	年末大掃除	28名	0名	13名
1	新年会	27名	31名	8名

2	クッキング	6名	0名	4名
	食事とカラオケ、ボウリング	13名	0名	3名
	フットサル大会(府中市)	8名	6名	9名
3	防災館見学	9名	0名	2名
合計		239名	75名	109名

- * 利用者自治会は隔月1回実施。
- * 居室のクリーンデーは毎週木曜日に実施。
- * 寮全体のハウスキーピングは月1回実施。
- * 館内消毒は、年2回・業者による館内清掃は隔月1回実施。
- * 館内大掃除は、夏と冬の年2回

(6) 地域生活総合講座

実施月日	内 容
5月23日	生活講座：卒寮後の進路について(単身者)
6月27日	生活講座：卒寮後の進路について(GH)
7月25日	生活講座：歯みがき、ブラッシング講座
8月22日	生活講座：消費者講座
9月26日	生活講座：卒寮後の生活講座
10月24日	生活講座：スマートホン、携帯電話教室
12月 9日	生活講座：防犯講座
2月27日	性講座：女性の性講座
3月13日	性講座：男性の性講座

(7) 地域移行者対応

① グループホーム利用者数

(平成30年3月31日現在)

生活寮	地域	利用者		生活寮	地域	利用者	
		男	女			男	女
万葉寮	八王子市	1	2	ふじもりホーム	八王子市	1	
モアコート朝貝	立川市	3	5	中野上町寮	八王子市		1
みずほ寮	立川市	3		たまりばあ	八王子市	2	
国立寮	国立市	4		フローガーデンそら	八王子市	2	
曙寮	立川市	1	1	たんぽぽ	八王子市		2
アメニティ富士見	東村山市		1	かぺら	八王子市	2	
神明寮	日野市	3	1	ののか	日野市		1
もえぎ	小金井市		1	練馬第一寮	練馬区	2	

たけだ寮	杉並区	1		おうらん	日光市	1	
みつき	武蔵村山市		2	西八王子寮	八王子市	3	1
誠寮	練馬区	1		七生生活寮	日野市	1	
マイホームはるな	国分寺市		1	ドリーム H 東村山	東村山市	1	
GH フォンテーヌ加美 (ニールテラーホーム)	福生市	1	2	NPO タイセン ISAMI	日野市	3	
青少年自立援助センター	福生市	3		たけだ寮有限会社 環七 府中寮	府中市	1	
グリーンオアシス	福生市	1		第一府中寮	府中市	2	3
きんもくせい	福生市	3		スマイル成田東	杉並区	1	
フローガーデンそらの家	八王子市		2	阿佐ヶ谷ホームけやき	杉並区		1
コスモス	府中市	3	2	萌春寮	国立市	1	
あらたま寮	府中市	1	1	オレンジ	東大和市	1	
森の時計	府中市	3		マイホームやまと	国分寺市		1
のぞみ寮	日野市	1		かがわの家	小金井市	1	
東大和寮	東大和	5		GH げん	日野市	1	
スワハイム山鳩	東村山	1		府中小児療育医療センター	府中市	1	
佐藤寮	東村山	2		FH 砂川	立川市	1	
そよかぜ	羽村市	1		青梅荘	青梅市	2	1
いずみ寮	狛江市	2		RUE 矢野口	稲城市		1
にこにこ	昭島市	3		GH あさや	府中市	1	1
GH くすのき	大田区	1		田端みどり荘	北区	1	
GH クラージュ	東大和市	1	2	GH マーチ小金井	小金井市	1	
GH メルヴェイユ糀谷	大田区	1		GH 縁パワー	武蔵村山市	1	
GH フレンズちがせさん	青梅市		1	GH 第2ベアーハウス	板橋区	1	
GH ニールテラーホーム	福生市		1	GH にこにこ	昭島市	1	

② 単身生活移行者数

(平成30年3月31日現在)

地 域	利用者		地 域	利用者	
	男	女		男	女
立川市	2名	1名	日野市	1名	1名
八王子市	2名	2名	青梅市	1名	0名

東村山市	0名	1名	東大和市	1名	0名
多摩市	1名	0名	昭島市	0名	1名
小金井市	1名	0名	府中市	3名	0名
国立市	2名	0名			

平成29年度までの移行者総数合計 20人

③ 単身生活サポート登録者数 (平成30年3月31日現在)

No	性別	住所	勤務先	職種	度数
1	男	東村山市	東村山市	福祉	4
2	女	立川市	三鷹市	事務補助	4
3	男	日野市	日野市	清掃	4
4	女	八王子市	相模原市	事務補助	4
5	男	清瀬市	練馬区	清掃	4
6	女	立川市	三鷹市	流通	4
7	男	国分寺市	東大和市	販売	4
8	女	国分寺市	川崎市	事務補助	4
9	男	国立市	国立市	作業所	4
10	男	国立市	昭島市	販売	4

④ アフターケア(生活支援員)

項目	件数	内容
生活相談	電話(メール)	対人関係・生活全般についての支援及び相談、訪問支援においては安否・健康状態・部屋の衛生状態の確認。グループホーム世話人との連携。
	来寮訪問	
職業相談	28件	ハローワーク・就労支援センター等の関係機関と連携を行い、職場対応や転職・再就職支援。
健康相談	11件	健康相談、必要に応じ医療機関との連携。
余暇・行事	43件	スポーツ大会と練習、グループ活動。
食事提供	25件	GH、単身生活者などの地域移行者に対して、寮内の食堂での食事提供。

⑤ 地域移行支援員の実施状況

項目	件数	内容
困りごと相談 (電話・メール)	64件	地域移行支援員所持のPHSを使用しての単身者からの対人関係・金銭管理・生活全般についての支援及び相談。

訪問	26件	単身者の自宅を訪問しての対人関係・生活全般についての支援及び相談、安否・健康状態・部屋の衛生状態の確認。
就労	13件	PHSでの電話、メールでの相談支援。単身者自宅訪問時の相談支援。職場関係者との情報共有、職場訪問などの連携。
通院	8件	必要に応じ通院の付き添い。病院情報の提供。
行政同行	12件	書類申請支援、役所等への付添い及び窓口対応支援。
生活費管理	97件	金銭の受け渡し、払込み代行、出納帳への記録支援。
健康全般	12件	健康相談、自炊ができない単身生活者に対し、宅食サービスの手続き支援。
GH移行支援	0件	単身生活からGHへ移行する方の手続き支援。

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取組み

法人の理念に基づき利用者一人ひとりの人権と意思を尊重した支援を徹底するため、研修成果として、職員は「虐待防止要綱」を遵守した。身体拘束、行動制限の実施については、対象者はいないが虐待防止委員会を実施し、透明性を確保した。

(2) 虐待防止について

虐待防止をはじめ権利擁護に関する体制を整備し、法人内外の研修会への参加や12月の職員会議及び支援員会議を通じて、研修を実施した。

① 虐待防止委員会

虐待防止委員会	委員長 福田 良一	施設長 (サービス管理責任者)
	委員 田中 利彦	支援員
	委員 善場 勇人	支援員
虐待防止責任者	氏名 福田 良一	

② 虐待防止に関する研修

職員会議で通勤寮虐待防止マニュアルを確認すると共に、虐待防止チェックリストを職員で7月17日以降に実施し、周知の徹底と防止に努めた。

③ 虐待防止委員会の実施

日時	内容	参加者
6月 6日	虐待通報義務・マニュアル・運営規程・風通しのよい環境づくり	福田施設長・福士事務員 藤本支援員
7月 9日	非常勤オリエンテーション	アルバイト・支援員 5名
7月17日	虐待防止チェックリスト・事故報告	アルバイト職員 6名

12月5日	運営規定の確認・虐待防止体制の整備・障害者虐待防止法について・研修を実施するうえでの留意点	福田施設長・海發・藤本善場地域移行支援員
-------	---	----------------------

(3) 苦情解決について

「利用者からの苦情解決実施要綱」に沿って、利用者の権利を擁護するとともに利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援した。

また、事業所の目的に沿ってオンブズマンを任命し、より良い施設作りのための協力を得た。

役名	氏名	備考
苦情解決責任者	福田 良一	施設長（サービス管理責任者）
苦情受付担当者	善場 勇人	地域移行支援員
苦情解決第三者委員	柴田 洋弥	自閉症協会常任理事等
苦情解決第三者委員	吉野 一男	元生活支援センター主任
苦情解決第三者委員	松永 一子	元特別支援学校教員
法人苦情受付窓口	田島 玲子	育成会青年期相談室長

*オンブズマン会合：9月17日・3月25日苦情解決第三者委員との会合実施

(4) 個人情報保護

「東京都個人情報の保護に関する条例」及び「東京都手をつなぐ育成会個人情報保護規程」並びに「特定個人情報保護規程」に基づき、法の趣旨を踏まえ、社会福祉事業を実施する事業所における個人情報の性格と重要性を十分認識し、適正な取り扱いを図るとともに、紙面及びUSBによる個人情報の持ち出しを原則禁止とする内容を非常勤職員オリエンテーション及び職員会議にて周知した。

(5) 障害者差別解消法

障害があってもなくても、だれもが分け隔てられず、お互いを尊重して、暮らし、勉強し、働くことができるように差別を解消して、だれもが安心して暮らせる豊かな共生社会の実現を目指すための、差別解消法を職員会議にて説明した。

6. 医務

(1) 健康管理

① 集団検診の実施

検診名	実施月	実施機関	参加数	備考
-----	-----	------	-----	----

定期健康診断	6月 2月	立川内科クリ ニック	38名	寮検診 職員38名含む
インフルエンザ 予防接種	1月	立川内科クリ ニック	50名	利用者30名 職員20名
はしかや風疹抗 体検査	4月	立川内科クリ ニック	0名	利用者0名
検便	7月 12月	東京食品	34名	利用者28名、 職員6名
歯科検診	9月 10月	歯科医師会	28名	利用者のみ

*必要に応じて、定期検診の結果を主治医や嘱託医に連絡し通院した。

② 通院状況

診療科目	精神科	内科	整形 外科	皮膚 科	耳鼻 咽喉 科	歯科	眼科	胃腸 科	泌尿 器科	肛門 科	婦人 科	呼吸 器科	その他	計
人数	38	41	9	32	2	78	8	0	3	0	6	0	7	224
回数	38	41	9	32	2	78	8	0	3	0	6	0	7	224

(2) 関係医療機関・嘱託医

*協力医療機関名（嘱託医）

医療機関名	診療科目	実施内容
立川クリニック	内科	診療と家庭医としてのアドバイス等
曙クリニック	神経科、精神科、 心療内科	診療と寮生とのカウンセリング等

(3) 感染症予防・対応

集団生活での感染症発生に際して、拡大を最小限に備えるための「麻疹及び風疹」の抗体検査及び予防接種を実施している。利用者の生活に制限がなされないよう、正しい知識と対処方法を身につけ、適切な対応がとれるように行った。

- ① 害虫駆除、館内消毒（ノロウイルス対策）、入館時の消毒を実施した。
- ② インフルエンザ予防接種を全利用者と全職員に実施した。
- ③ 麻疹の抗体検査を職員へも実施している。

7. 給食・調理

(1) 給食会議

給食会議を施設長、担当支援員、栄養士、調理員、委託先栄養士で年12回実施した。議題として、検食記録簿の検証や提案、要望事項等を検討し、給食に嗜好をこらした。

- ① 嗜好調査を6月に実施し、残滓調査を11月に実施した。
- ② 利用者の疾患により、特別食（減塩食、肥満食、アレルギー食等）が必要な時は、できるだけ利用者の病状に配慮した喫食となるよう、味付けや量を調節し加えた個別メニューを行った。
- ③ 選択食、季節行事食、バイキングを献立に導入し利用者の嗜好や季節を感じる事のできるメニューの工夫をした。

実施月	内 容
4月	おかずバイキング（25日）
5月	おかずバイキング（15日）
6月	おかずバイキング（12日）
7月	カレーバイキング（11日）・夕食バイキング（18日） 食事会（22日）
8月	おかずバイキング（7日）・からあげバイキング（15日）
9月	おかずバイキング（4日）
10月	夕食バイキング（31日）
11月	夕食バイキング（7日）・餃子バイキング（14日）
12月	クリスマス食事会（23日）年越しそば（31）
1月	おかずバイキング（12日）
2月	おかずバイキング（12日）・
3月	おかずバイキング（5日）

- ④ 食事に関する支援ポスター（注意喚起や豆知識）を作成し掲示した。
- ⑤ 極力、冷凍野菜、既製品食材を使用しない手作りの料理を提供した。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

給食提供をする上で配慮すべき、衛生面の保持を行い、予防を心がけると共に、発生時の対応に備えた代替先を確保した。

- ① 利用者の使用する設備と器具については清潔さを保った。
- ② 食中毒の予防を栄養士、調理業者と連携して努め、利用者へは講座やポスターを作成して注意喚起を促した。

(3) 委託業者

株式会社 「レパスト」

〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-8 第2丸高ビル

連絡先 03-3541-3721

8. 危機管理

事故を限りなく「ゼロ」にする為にはどうしたらよいか、万が一起きてしまった場合の適切な対応、また同じような事故が再び起こさない対策を講じる等の積極的な姿勢を持つことが重要と考え、危機管理（リスクマネジメント）マニュアルを有効に生かして、事故予防に努めた。

(1) 事故防止・対応

- ① 育成会の危機管理マニュアルのほか、通勤寮マニュアルを活用し、宿直管理業務を警備会社へ委託し、職員の補助として夜間の建物内外の巡回点検と防災防犯、建物設備や備品の保全の確認を実施した。
- ② 不審者侵入時に備えて適切な対応がとれる環境を整えるよう、外部からの不法侵入者を防ぐための夜間巡回や防犯カメラの設置と24時間警報システムを作動させている。警察からの指導を受け作成した侵入者等防犯マニュアルのもと、利用者及び職員の安全確保を行った。
- ③ 事故が発生した場合に備え、施設賠償保険、預り金保障保険に加入した。
- ④ 医療機関へ受診する際、処置に必要な情報と、既往症や現病歴、服薬状況アレルギーの有無等を医師に伝えるため、常に必要な個人情報を管理している。

(2) 緊急時対応等（事件・事故）

- ① 事故の状況を速やかに把握し、協力者や応援者を求め症状により、救急車を要請し、すぐに医療機関に受診できる体制を構築した。
- ② 法人本部並びに関係機関に早急に連絡を取るとともに、法人と協議しながら必要な対応を行える体制を構築した。
- ③ 家族等へ速やかに連絡し、事故の発生状況や医療機関の診察、検査結果、事故後速やかに事故報告書を作成し発生の状況分析を行い、今後の事故防止対策について全職員で確認した。

(3) 情報漏えい対策 等

東京都個人情報保護に関する条例と法人が定める「個人情報保護規程」「情報公開・開示規程」に基づき、施設内の個人情報管理体制を整備し、不適正な個人情報の取り扱いや漏洩等の防止を行った。

(4) 特定個人情報管理（マイナンバー関連書類・データ等）

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」に則り、管理区域、取扱区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの番号収集は、規程に則り、適切な方法で行った。

職名	氏名
取扱管理責任者（法人）	事務局長 齊藤 一紀
取扱責任者	施設長 福田 良一
取扱担当者	支援員 田中 利彦
取扱担当者	事務員 福士 朋恵

○在籍者の個人番号管理について

原則として本人、家族、後見人が取り扱う形とした。何らかの理由で事業所において個人番号カード等の保管を依頼された場合には、預り金等管理依頼書・受領書に記載し、取扱者のみが開けられる金庫に保管した。番号を利用する場合は、選任された者のみが取り扱った。

9. 防災

(1) 自衛消防体制

- ① 「東京都女性相談センター多摩支所」及び「救世軍新生寮」と連携し利用者の安全確保を構築した。
- ② 災害時の備蓄食料・生活物資などを3日分在庫している。
- ③ 避難場所及び給水場の確認や寮内掲示（一時避難場所：立川市立第一小学校及び立川市立第一中学校、広域避難場所：多摩川河川敷）を実施した。
- ④ 防災委員会

日時	場所	参加者
5月22日	立川市立立川第一小学校	各町内会代表者
6月13日	立川市立立川第一小学校	各町内会代表者

(2) 避難訓練

- ① 毎月、火災訓練、消火訓練、地震訓練、災害備蓄用品点検などの想定を変えながら避難訓練を行った。
- ② 東京立川消防庁防災館（3月4日）にて避難体験を実施した。
- ③ 実績

実施月	内容	実施月	内容
4月	火災避難訓練	10月	火災避難訓練
5月	防災倉庫の整理	11月	火災避難訓練
6月	柴崎町防災合同訓練	12月	消火訓練

7月	火災避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練	2月	通報・応急救護訓練
9月	火災避難訓練	3月	立川防災館見学

(3) 大規模地震・災害対応

以下の点を留意した体制を取り準備した。

- ① 非常持ち出し袋の中身を確認した。
- ② 避難経路確保を日常的に確認した。
- ③ 転倒しやすい家具等の転倒防止対策をした。
- ④ 出火に備え、消火器の所在確認および使用方法を実施した。
- ⑤ 緊急時役割分担一覧、緊急時連絡一覧表を作成した。
- ⑥ 利用者就労先の通勤経路図を作成した。
- ⑦ 就労中の安否確認連絡先や退勤時の場合の帰宅経路、各避難先の確認した。
- ⑧ 利用者参加行事として、防災館での講座と模擬体験。(年1回)を実施した。
- ⑨ 防火管理講習、上級救命講習の受講、防災関係研修へ参加した。
- ⑩ 非常食と飲料水の備蓄、薬を整備した。
- ⑪ 利用者へのヘルメットを確保した。
- ⑫ 緊急連絡としてのスマートフォン携帯電話所持をおこなった。
- ⑬ 立川市と災害時における災害活動等の支援に関する協定を締結済み

10. 家族(保護者)との連携

家族連絡会では、OB及び在籍家族が参加している。厚生労働省からの制度改革として、「地域生活を支援する新たなサービス(自立生活支援)の創設」「障害者グループホーム支援事業(都加算)の見直し」「連携型グループホーム」「ぜんち共済及びAIU保険の説明会」「社会福祉法人制度改革」等、新しい情報提供と区市町村窓口の対応等情報交換と共有の場となった。

<保護者連絡会実施状況>

年月日	行事名	参加者数
29年5月21日	全体連絡会	13名
29年7月16日	全体連絡会	13名
29年10月15日	保護者面談	11名
30年1月21日	全体連絡会	13名
30年1月28日	通勤寮新年会	4名
30年3月18日	全体連絡会	11名

合 計		65名
-----	--	-----

1 1. 地域との連携

(1) 地域交流

月	行事名	利用者・職員
6	柴崎町地区防災合同訓練に参加	8名
8	柴西町会の夏祭りに参加	13名
1	柴西町会の防犯防災パトロールに参加	1名
2	柴西町会の防犯防災パトロールに参加	2名
合 計		24名

(2) 地域関係団体との連携

- ① 多摩地域の各手をつなぐ親の会の団体、特別支援学校の保護者や生徒等の見学を積極的に受け入れ、生徒の進路を考える一助として関係機関と連携した。また、依頼された団体への説明会（講和）を実施した。

日時	団体名	参加人数
4月28日	多摩桜ヶ丘学園保護者会	15人
5月12日	多摩市役所障害福祉課職員	2人
7月24日	府中けやきの森学園保護者・生徒・教諭	16人
7月31日	羽村特別支援学校生徒・教諭	26人
8月 9日	青峰学園	5人
8月22日	南大沢学園生徒・教諭・保護者（2部制）	30人
8月25日	武蔵野千川福士会職員	15人
9月21日	武蔵台学園	17人
9月21日	れんげ学園	4人
9月26日	稲城市障害者総合相談センター	5人
11月 7日	国立市発達障害児教育「タスク」スタッフ	3人
2月15日	多摩桜ヶ丘学園	21人
2月26日	神奈川県津久井養護学校教諭	2人
3月27日	青峰学園	31人

- ② 立川親の会が発起人である「立川就労を考える会」に参加し、就労支援センターや精神障害者の家族、障害者雇用事業所（スーパーいなげや）、弁護士、議員等と情報交換や連携を行った。

日時	場所
6月22日	立川市総合福祉センター
12月15日	立川市役所101会議室

12. 会議

(1) 寮内会議

会議名	参加者	内容	頻度
職員会議	全職員	施設運営に関する協議・決定	毎月1
支援会議	支援員	利用者支援に関する協議	毎月2
給食会議	寮長・担当職員 栄養士・給食社員	給食・栄養指導に関する協議	毎月1

(2) 4寮合同会議

会議名	内容	頻度
4 通勤寮サビ管会議	統一マニュアルの改訂・整備等	毎月1
4 通勤寮支援ソフト会議	書式の整備・作成手順等	毎月1
6 寮会議	研修や見学の企画運営等	毎月1

13. 研修計画・大会参加

(1) 大会参加

日時	主催者・研修名	人数
4月20日 ～21日	関東地区宿泊型自立訓練事業施設長会	1名
5月24日	立川市手をつなぐ親の会総会	1名
7月4日	全国宿泊型自立訓練事業施設長会合	1名
7月4日 ～5日	全国知的障害関係施設長等会議	1名
7月7日	東京都育成会大会	1名
8月4日	関東地区宿泊型自立訓練職員研修	2名
9月5日 ～6日	全国宿泊型自立訓練事業職員研究大会	2名
9月23日 ～24日	全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 北海道札幌大会	1名
10月6日	東京都知的障害者育成会 大研修会	1名
2月7日	立川市社会福祉法人社会貢献事業（BHEL P）	1名

2月 1日 ～2日	関東地区宿泊型自立訓練等協議会職員研修会	2名
--------------	----------------------	----

(2) 職員育成

① 人事考課の目的

法人と通勤寮の使命と目標を達成するために人事考課を実施して職員の能力開発を行った。ベテラン中堅層と1年未満の職員が同数配置されたこともあり、OJTを日頃から強化していける組み合わせた体制と育成の仕組みを設けた。具体的には各業務でペアを作り、引き継ぎと確認を続けながらバトンタッチして継承していく配置とした。来年度もPDCAプロセス・説明責任・インフォームドコンセントを基本とした、面談を実施した。

② 個人研修計画・評価

年度当初に「個人研修計画・評価シート」を作成して個々の目標テーマを掲げ、その目標達成に向けて研修に取り組み、研修後は職員全体への振り返りを通じて意識を共有している。今年度は、若手職員から希望する研修が増えており、福祉職に特化せず、サービスに関する専門職としての意識向上に繋がった。

(3) 研修参加

日時	主催者・研修名	参加者
4月 4日 ～6日	中小企業振興公社 新入社員研修	1名
4月 8日	東京都育成会・新人研修（第1回）	2名
4月10日	東京都育成会・新人研修（第2回）	2名
4月11日	日本コンサルティング・合同新人研修	1名
4月14日	労働開発研究会・顧客管理強化	1名
4月28日	東京都育成会・新人研修（第1回）	2名
5月16日	中小企業振興公社 OJTリーダー育成研修	1名
6月 4日	三多摩後見を考える会・生活保護制度と今後の課題	1名
6月 5日	東京都育成会・中級中堅研修	1名
6月16日	中小企業振興公社 OJTリーダー育成研修	1名
6月16日	労働管理教育センター・衛生推進者養成講習	1名
6月23日	障害年金を学ぶ会	1名
7月10日	労働管理教育センター・衛生推進者養成講習	1名
7月12日	東京都育成会・初級中堅研修	1名

7月19日 ～21日	東京都職業センター・就業支援基礎研修	1名
7月25日	懲戒処分の法律実務Q&A	1名
8月23日	東京都育成会・中級中堅研修	1名
8月29日	国立職業リハビリテーションセンター見学説明会	2名
9月6日	東京都育成会・新任集中研修	1名
9月13日	ソフトブレンサービス営業スキルの「見える化」 で実現 成果に直結する「科学データに基づいた営業人材育成法」	2名
9月16日 ～17日	SST研修	1名
9月19日 ～21日	東京都職業センター・就業支援基礎研修	1名
9月30日	・自閉症研修	1名
10月 5日	中堅・リーダー層の実践力向上講座 コミュニケーション推進体験ワークショップ研修	1名
10月 6日	東京都育成会・大研修	1名
10月17日	東京都育成会・新任集中研修	3名
10月19日	中小企業振興公社 OJTリーダー育成研修	1名
10月19日	東社協知的発達障害者部会地域支援分科会	2名
10月25日	東社協・労働基礎研修	2名
11月 6日 ～7日	中小企業振興公社 新入社員フォローアップ研修	4名
11月29日	東京都育成会 二年目研修	2名
12月6日	東京都育成会・実践・事例研修	1名
12月18日	東社協合同学習会	2名
12月21日	強度行動障害	1名
1月18日	障害者虐待防止の研修	1名
3月29日 ～30日	SHINKA株式会社 新入社員研修	2名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 健康診断、細菌検査、インフルエンザ予防接種を全職員受診した。

② 麻疹の抗体検査の実施。

(2) 衛生推進体制

労働安全衛生法に基づき、安全衛生推進者を配置し、下記の業務を推進した。

- ① 労働者の危険又は、健康障害を防止するための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因の調査及び再発防止対策に関すること。

安全衛生推進者	修了証番号	氏名	所属
	第170710038号	福士 朋恵	事務員

(3) 衛生委員会の実施

日時	内容	参加者
8月 8日	衛生推進者講習会の講習内容の確認 職員アンケートによる労務改善点	福田施設長・福士事務員 市村非常勤支援員
12月13日	安全推進者の設置 安全衛生方針の確認、労働災害防止について確認、新人オリエンテーションの項目に入れる	福田施設長・馬場・藤本

(4) セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止

① セクシャルハラスメント防止要綱に基づき、委員を置く。

役割	氏名	備考
解決責任者	福田 良一	施設長（サービス管理責任者）
苦情受付担当者（女）	高島 征子	支援員
苦情受付担当者（男）	田中 利彦	支援員

② 就業規則に基づき、パワーハラスメント防止のため委員を置く。

役割	氏名	備考
解決責任者	福田 良一	施設長（サービス管理責任者）
苦情受付担当者（男）	田中 利彦	支援員
苦情受付担当者（女）	福士 朋恵	事務員

(5) メンタルヘルス

「メンタルサポートネット」の利用案内を配布して、カウンセリング窓口（相談先）を周知した。

- ① 対外業務及び寮生の要望過多による、過度なストレスによる精神的な疲労が蓄積しないよう、明るく会話しやすい職場環境や雰囲気을大切にした。

- ② 法人本部内に、「職員の悩みごと相談窓口」の設置を周知した。
相談時間：月～木 10時から17時 (担当)山本多賀子
- ③ 法人がメンタルヘルス指定相談医を委嘱し、職員に関する管理者等の相談窓口としてコンサルタント契約を締結。

株式会社 HL&E 橋本大彦医師	(相談窓口) 法人事務局
------------------	--------------

(6) 次世代育成支援

- ① 子供参観実績なし。

15. 指導・監査・調査等

<福祉サービス第三者評価>

(1) 評価機関名

株式会社 医療福祉経営研究所

(2) 評価実施期間

平成29年08月01日～29年10月02日

(3) 評価方法

利用者調査・職員説明・職員自己評価・訪問調査・評価結果報告会

(4) 評価結果

<特に良いと思う点>

1. 将来の自立・自律の支援プログラム提供。
2. 業務遂行の行動工夫。
3. 職員と寮生のコミュニケーション風土の機会。

<さらなる改善が望まれる>

1. 自立生活スキル習得評価の向上。
2. 主任支援員の育成。
3. 職員同士の成長。

16. 決算別紙